

大腸癌研究会プロジェクト研究  
『肛門管癌の病態解明と Staging に関する研究』  
第 1 回会議議事録

日時：平成 29 年 7 月 6 日 11:00-12:00

場所：四日市都ホテル 4F 伊勢（松）

出席者：委員長：山田一隆

プロジェクトアドバイザー：杉原健一（渡邊聡明、固武健二郎）

委員：赤木由人（代理：藤田文彦）、味岡洋一、池 秀之、池上雅博、石田秀行（代理：天野邦彦）、石田文生、伊藤雅昭、伊藤芳紀、岩下明德、上野秀樹（代理：山寺勝人）、上野雅資、落合淳志（代理：小嶋基宏）、金光幸秀（代理：塚本俊輔）、幸田圭史（代理：成島一夫）、小林宏寿（代理：川上雅代）、小森康司、坂井義治、塩見明生、高島淳生、高橋慶一、橋口陽二郎（代理：端山 軍）、船橋公彦、前田耕太郎、森 正樹（代理：水島恒和）、安野正道（代理：松山貴俊）、山口茂樹、渡邊聡明（代理：川合一茂）【50 音順】

オブザーバー：近畿大 外科（川村純一郎）、産業医科大 第一外科（平田敬治）、日赤医療センター 大腸肛門外科（須並英二）、福島県立医科大会津医療センター 小腸・大腸・肛門科（富樫一智）、横浜市立大附属市民総合医療センター 消化器病センター下部消化管外科（大田貢由、中川和也）

会議内容：

I) 議題 1. 「肛門管癌の病態解明と Staging に関する研究」プロジェクト研究について

委員長の山田より、①本プロジェクト研究の関してその背景、目的、研究内容、研究 スケジュール、委員構成等に関する説明をおこなった。

実行委員の佐伯より、資料に基づき②肛門癌におけるTNM分類第7版から第8版への変更点、③肛門管扁平上皮癌に関する文献調査結果、④大腸癌研究会全国登録データを用いた肛門管扁平上皮癌（類基底細胞癌を含む）解析、⑤今後の研究内容（収集データの内容・項目について）に関する説明を行った。

II) 議題 2. 大腸癌研究会 倫理審査委員会への申請について

委員長の山田より、今回の検討を踏まえて大腸癌研究会倫理審査委員会へ審査の申請を行う旨の説明を行った。

III) 検討事項

1) 腺扁平上皮癌の取扱いについて

今後データの収集・解析を行う上で腺扁平上皮癌については、扁平上皮癌と別の組織型として取扱い、各施設の病理医によって間違いなく扁平上皮癌であると診断された症例についてのみ扁平上皮癌症例として取扱うこととした。

## 2) 収集データの内容・項目について

収集対象期間について、1991-2015年の症例について提供して頂き、2013-2015年症例については、改めて5年生存率の解析のため、事務局より予後情報の提供を求めることで承認された。また、項目として、NCCNにおける肛門癌の危険因子として上げられている子宮頸癌、外陰癌、膣癌等の既往を追加することで承認された。症例の収集については、本邦では稀な疾患である肛門悪性腫瘍症例を十分に収集するため、参加施設の1つの診療科・講座のみの症例でなく、外科、内科、放射線科、病理が連携して頂き、更に外部紹介施設にも協力を求め症例の情報を収集することで承認された。

## IV) 今後の予定

今回の委員会での検討内容をふまえ、研究計画書を完成させ、大腸癌研究会の倫理審査委員会にて承認を得る。

承認後、各施設へ資料送付と調査依頼を行い、次回の委員会時に提供いただいたデータの解析結果を報告する。また、JCOG0903『臨床病期 II/III 肛門管扁平上皮癌に対する S-1+MMC を同時併用する根治的化学放射線療法の臨床第 I / II 相試験』との比較についても、次回の委員会にて報告を行う。

文責：山田 一隆